


三条教区通信

第84号

発行日 2014年6月1日
発行者 三条教務所長 鷲尾幸雄
発行所 真宗大谷派三条教務所
〒955-0071 三条市本町2丁目1-57
E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
ホームページ: www.gobosama.net

三条教区 

今月の法語

[真宗教団連合『法語カレンダー』より]

深い悲しみ

苦しみを通してのみ

見えてくる世界がある

平野恵子

There is a world which becomes visible
only through deep sorrow and suffering.

Hirano Keiko

三条教区災害対策委員会のお知らせ

皆様にご協力いただいております三条教区独自の東日本大震災救援金は、2014年5月31日現在、総額14,060,361円となりました。

これまでの救援金寄託状況及び復興支援活動資金の使用状況は以下のとおりです。

2,000,000円 東京教区 2012年2月14日

10,000,000円 仙台教区 2012年4月13日

1,170,237円 東日本大震災復興支援活動資金

ご報告いたしますとともに、さらなるご協力をお願い申し上げます。

御遠忌実行委員会のお知らせ

三条教区・三条別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要

2015年5月19日から24日まで厳修

御遠忌法要まであと352日

『御遠忌通信』第17号発行

御遠忌法要「駒札」の立柱式・除幕式並びにお待ち受け「同朋大会」を無事に終え、いよいよ明年5月の法要に向けキックオフしました。今回の御遠忌通信では、駒札と同朋大会、それぞれを担った渡邊智龍広報部会主査、渡邊学教化部会主査のお二人から報告をいただいています。

本信と同時に送りますので、どうぞご覧ください。

三条教区教化センターのお知らせ

第10期教化センター研究生の募集

三条教区教化センターは、自信教人信の誠をつくす求道者の誕生、三条教区の将来を担う「人」の養成機関として、また自らが真宗門徒に成っていくという生き方の実践の場として、その任を担ってきました。

このたび、第10期を迎えるにあたり、研究生を募集いたします。受講を希望される方は、所属組組長を経由し、教務所まで願書(レポートを含む)をご提出ください。

なお、募集要項ならびに願書は各組長事務所、または教務所にございます。

願書受付締切 2014年6月20日(金)

担当 藤波

研修会のご案内

■ 御坊市(別院フォーラム)

開催案内既送

◆期日 2014年6月1日(日)10:00～16:00

◆場所 三条別院境内

◆問合せ 三条教務所(担当:五辻)

■ 「差別と真宗」基礎講座(第20組)

開催案内既送

◆日時 2014年6月7日(土)

◆会場 第20組圓周寺

◆講師 村山教二氏(第11組願興寺)

◆講題 「真宗門徒がなぜ差別問題を学ぶのか」

◆問合せ 三条教務所(担当:藤波)

■ 新任教師研修会(教学パート)

開催案内同封

◆日時 2014年6月16日(月)13:30～17日(火)12:00

◆会場 三条教区同朋会館

◆講師 藤場俊基氏(石川県常讃寺)

◆参加費 3,000円(宿泊・食事代込み)

◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

■ 新潟地区女性研修会

開催案内同封

◆期日 2014年6月17日(火)10:00～15:00

◆場所 第22組浄念寺

◆講師 里村専精氏(第20組最福寺)

◆内容 「韋提希に学ぶ一思いを超えた現実と観無量寿経の救い」

◆対象 どなたでも

◆参加費 1,500円(昼食代含む)

◆問合せ 三条教務所(担当:宮野)

■ 木揚場教会で“れきし”を発見！

開催案内同封

- ◆期 日 2014年6月25日(水)15:00～17:00
- ◆場 所 第21組木揚場教会
- ◆講 師 今泉温資氏(往生人舎主宰)
- ◆内 容 御遠忌教化事業「ほうおん！」プレゼント
明治度の本山両堂再建のため、1474本もの用材
が送り出された新潟港木揚場。そこに在った念仏
と人の歴史について学ぶ。
- ◆対 象 どなたでも(申込み不要)
- ◆参加費 教区の方500円(一般無料)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

■ 推進員・育成員共学研修会

開催案内同封

- ◆期 日 2014年6月30日(月)13:30～17:30
- ◆場 所 三条教区同朋会館
- ◆講 師 草間法照氏(第12組勝覺寺)
- ◆対 象 広く推進員、育成員、特に同朋の会教導、各組
推進員養成講座スタッフ、各組推進員連絡協議会
役員の方
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

■ 全戦争犠牲者追弔法会

開催案内同封

- ◆日 時 2014年7月5日(土)13:30～16:00
- ◆場 所 三条別院仮本堂
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宮野)

■ 第52回児童夏の集い

開催案内同封

- ◆日 時 2014年8月19日(火)～21日(木)
- ◆場 所 銀山平キャンプ場(魚沼市)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:五辻)

■ 連盟坊守研修会報告

第21組浄徳寺 浅平康子

この度の研修会は、4月22日～24日にかけて本山研修道場にて「現在を生きる～寺をひらく、私をひらく～」というテーマで、約100名の参加で開催されました。講師は、東京教区三浦組長願寺住職の海法龍先生と社会評論家の芹沢俊介先生のお二人でした。

海先生の、私たちが持つ「より良く生きたい」という願いの本質は、ほとんどが自己中心的なもので、自分にとって都合の良いことだけを喜び、単に他者との上下優劣の比較の中での安心に過ぎないとお言葉は、まさしく私自身の姿に他ならないと忸怩たる思いで聞かせていただきました。

しかし、その自己中心的な思いを超えた世界に触れることが、真に生きる力の源であり、誰にも代わることのできない唯一無二の「いのち」を生きることには他ならないのだというお言葉や、「ありのまま、あるがままに帰る」「そのままで尊い存在」とのお言葉から、比較によらない独立した「いのち」の尊さへの気付きの大切さを、改めて教えられました。

そしてまた、お寺で生活する住職も坊守も、ご門徒に対して上から目線になりがちではないか。我々も真宗門徒の一員であることの自覚をするようにとのご指摘をいただきました。

芹沢先生のお話では、「子どもは誰かと一緒のとき、一人になれる」というお言葉がとても印象に残りました。一人になれるとは、自分の世界に没頭できるということであり、傍らに絶対的に信頼できる人がいる必要があるということでもあります。「誰かと一緒のとき」の誰かとは、誰でも良い誰かでは

ありません。特別な誰かであり、愛情深い受けとめ手であり、絶対的な信頼の対象としての誰かということです。

如来と衆生の関係を、時に親子の愛情を譬えに語られることがあります。この度の芹沢先生のお話の誰かとは、まさに如来そのものの在りかたを示してくださっているように思われます。

最終日に、3年前の東日本大震災で今もなお家に帰ることのできない区域の現在の様子を映像で見せていただきました。

傾いたままの本堂や雑草が生い茂った参道を見るにつけ、行き先の見えない不安や居場所のない悲しみが、私がぼんやりしている間にも、現実として厳しく存在し続けていることをひしひしと感じさせられました。

3日間の研修を終えた今、海先生の「そのままで尊い存在」という言葉が重く跳ね返ってきます。

さて、いつも思うことですが、全国から参加された様々な年代の坊守さん達、しかもそのほとんど初対面の方々と、一緒に声を合わせてのお勤めは感激です。

今回の研修会は、緊張しながらも楽しく充実した時間を過ごすことができました。

■ 春季声明講習会(2014年4月21日開催)報告

第10組専徳寺 多田誓

「声明儀式に対する意識高揚と声明儀式作法の指導を担う人の育成」を目的として、毎年春と秋の2回、教区声明講習会部門では講習会を開催しています。



今回は、在家法要に多く用いられる『昭和法要式』を中心とした、法要式の勤め方について、入門者・経験者を問わず基礎から研鑽し直すことを目的として開催しました。私達大谷派僧侶が日頃勤める法要についてという身近な内容ということもあり、36名の参加をいただきました。ここ数年は毎回、本山堂衆の藤澤善夫先生にご指導いただきましたが、急病のため、急きょ同じく本山堂衆の泉康夫先生にお越しいただき、ご指導を賜りました。『昭和法要式』は「主に在家の年忌法要に用いる」ことを目的として、昭和31年に制定されたことですが、改めて講習を受けると、式次第や焼香のタイミング、表白の読み方、経後短念仏などがあるやふやであった事が確認できました。また、講習の後半には鳴り物として、音木と鑿の打ち方の実技講習をしていただきました。どちらも日頃使っているものですが、講習で参加

者各々うまく鳴らず、本来の良い響きで鳴らす練習の必要性を教えてくださいました。

■ 教学研究会報告

第11組西照寺 北原致

4月18日19日の二日間にわたり、教区同朋会館において教学研究会が開催されました。御講師は大谷大学准教授の三木彰円先生。聴講者は31名でした。

三木先生は今回が六年目で、先生からお話をいただける最後の年となりました。数えてみますと、本山の御遠忌をお迎えする二年前から始まり、教区御遠忌の一年前にあたる本年までお話をいただいたこととなります。大事な節目になるこの時期に、三木先生からお話をいただくことができたことは大変にありがたいことでした。

今回の御講義も信の巻を巡ってという形でのお話しとなりました。少し先生の御講義から聞き取ったことをお伝えしようと思います。

本山の御遠忌をお迎えする中で先生ご自身に改めて問われたことは、「宗祖親鸞聖人」というけれども、いったい「宗祖」とは、「親鸞」とは、「聖人」とは何なのかという、一つ一つの確かめでありました。ともすると「宗祖」あるいは「聖人」という時、そこには敬して遠ざけるような感覚がありはしないか。親鸞聖人を「ただびとにまします」というような宗教的偉人としていう時、宗派的なセクト主義に陥って大事なことを見失っていないか。明治大正にかけて起こった親鸞抹殺論や『教行信証』に記された親鸞のお言葉などを手がかりにお話し頂きました。

一方で、坂東本の修復作業に参加された時の感動とそこから得られた知見については、これまでもたびたびお話ししてくださったことですが、その修復作業を通して強く意識されるようになったのは、「親鸞」という一人(いちにん)のことであるということでした。

紙を綴じて冊子にし、まず白文の状態から清書を始め、書き上げた後も最晩年にいたるまで何度も何度も書き込みをしていかれた親鸞という一人の人間が、そこに確かにおられた、という感覚。

親鸞は『教行信証』の上に確かにおられる。そしてその親鸞は凡夫の身に徹した方である。信心とは単なる心の状態ではなくて、「この信は最勝希有人なり、この信は妙好上々人なり」と、「信は人なり」とも仰っておられる。凡夫の身の暗闇が徹底的に暴かれる悲しみと、その身にかけられた本願に出遇った喜びが、矛盾なく同時に成り立つことが、親鸞があきらかにされた信である。

『歎異抄』の第四章を読むと、聖道の慈悲を馬鹿にしてしまいがちであるが、聖道の慈悲が課題とならないものに浄土の慈悲もありはしない。『恵信尼文書』に述べられる三部経千部読誦のエピソードも、信心が不徹底だったということではない。一生涯慈悲を課題とされたのが親鸞ではないか。悟り澄ましたような冷たい親鸞ではなく、また歴史上の偉人としての親鸞でもなく、熱い想いを抱えてそこに道を求めていかれた親鸞こそが『教行信証』を書き続けた親鸞ではないか。

丁寧の一つ一つの言葉を押さえての御講義となりました。

私自身、今回の先生の御講義をいただいて、改めて来年の教区御遠忌のテーマである「親鸞さんにおあう」という言葉に思いをいたしましたことです。

教学研究会は来年一年お休みさせて頂いて、再来年よりまた新しい方から御講義をいただいていく予定です。その時にはまたどうか積極的にご聴講頂きたく、よろしくお願いたします。

■ 連盟若坊守研修会報告

5月8日から9日にかけて、真宗本廟・研修道場において、「語りましょう！見つけましょう！—お寺の在り方、私の生き方—」というテーマのもと、坊守会連盟主催の若坊守研修会が開催され、金沢教区常讃寺副住職である藤場芳子氏のご講義や、座談会が行われた。

講題「向き合う」を通して

第10組 願龍寺准坊守 田村彩子

若坊守といっても境遇は様々。だからこそ、講義後の座談会では色々な意見がとびかき、盛り上がりました。最終的な答えが出ずとも、語り合う中で、お互いに共感し合えるところや気づかされる場所など、沢山の刺激をもらえ、学ぶことの多い時間でした。また、同じ立場だからこそ心を開き、信頼できる友人も数人でき、1泊2日はあっという間に過ぎてしまいました。

今回の研修会において、日々の生活から離れた本山において「向き合う」ことを落ち着いて考えることができ、改めて自分自身を見つめ直すよい機会となり、周囲の皆様には有難く思っております。特に、家族の協力があつたからこそ参加することができました。いちばん身近な存在であり、いちばん大切にしていきたい存在。支えてくれる人たちへの感謝を胸に、これからも若坊守として、お寺と向き合っていけたらと感じております。

教務所からのお知らせ

◎ 退任のご挨拶

前三条教務所主計 加田岡克哉

このたび、3月26日付をもちまして、長浜教務所主計を拝命いたしました。

三条教区の皆様方には、2009年3月より5年間に亘りお世話になりました。

顧みれば、私にとって初めての「主計」として着任し、まさに当教区は、中越沖地震の傷跡が残る中で、御遠忌お待ち受けで盛り上がりおりましたことを思い出します。あれから、あつという間の内容の濃い5年であったなあと感じております。

いろいろとご迷惑をおかけしましたし、また、温かく見守っていただき、厳しくご指導いただきましたことに感謝しております。

この広大な新潟の大地で、雪、風、雨の自然の猛威に耐えながらも、皆さんと共に、宗祖の御遠忌をお迎えできたことは、何よりの貴重な経験となりました。

いよいよ、来春に教区の御遠忌をお迎えする大事なとき

に去らなければならないのは、残念であります。三条教区での経験を宝として、新任地の長浜教区におきましても、5年後の御遠忌に向けて精進してまいりたく存じます。

最後に、皆様のご健勝と三条教区の発展・躍進を願いたしまして離任のご挨拶とさせていただきます。本当に有り難うございました。

◎ 着任のご挨拶



三条教務所主計 菅谷太希
謹啓 初夏の候 ますます為法
ご精進のことと拝察いたします。

近年、度重なる台風・豪雨により被災されました教区内寺院・教会・御門徒の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

さて私儀

このたび、3月26日付けで三条教務所主計を拝命いたしました菅谷太希(すがたに だいき)

と申します。前任地は宗務所財務部で、2008年の入所以来、教務所は、北海道教務所、久留米教務所と2カ所を経験してまいりました。

本山の御遠忌法要が厳修され、続々と各教区の御遠忌法要が計画されていく中で、三条教区もいよいよ一年後に教区御遠忌法要をお迎えする非常に大切な時期の発令ということで、大きな責任と不安を感じております。

出身は、富山県をはきんで向こうの石川県(金沢教区)ですが、新潟県には生まれてから2~3回程しか来たことがないため、様々なことが新鮮に感じられ、新たな土地で心機一転して業務に励んでまいる所存です。

今回、三条教区の皆様とともに歩む機会を与えられたことを尊い御縁として、及ばずながら力を尽くしてまいりたく存じますので、何卒ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

略儀ながら、書中をもって着任のご挨拶とさせていただきます。

謹白

◎ ラジオ放送「東本願寺の時間」について

宗派が1951年11月よりラジオ伝道として放送している「東本願寺の時間」について、吉運堂様のご提供により、新潟県でもお聞きいただけます。

- 講師 6/1~7/12 太田浩史(富山県 大福寺)
7/13~8/23 平原晃宗(京都府 正蓮寺)
(変更する場合があります)

- 放送局 BSN新潟放送
*新潟県全域をカバー
・小出エリア 1026KHz
・中越エリア 1062KHz
・下越エリア 1116KHz
・塩沢エリア 1485KHz
・上越エリア 1530KHz

○時間 毎週金曜日午前5:00~5:10

○提供 吉運堂様

◎ 教区行事予定表

2014年		
6/1(日)	10:00	御坊市 (遠)別院御修復現場視察(御坊市公開)
6/3(火)	10:00 14:00	女性研修会スタッフ会議・学習会 教区御依頼適正審議会
6/4(水)	13:00	(遠)子ども御遠忌(第1日目)スタッフ会
6/5(木)	13:00 17:00 17:00	(遠)宗祖御影巡回(12組時水勝覺寺) (遠)別院御修復現場視察(22組本悟寺) 教学研究会部門輪読会 (遠)子ども御遠忌(第2日目)スタッフ会
6/6(金)	10:00 15:00	(遠)別院御修復現場視察(20組最福寺) 同朋の会教導連絡協議会総会
6/7(土)	14:00	真宗学院 差別と真宗基礎講座(20組)
6/8(日)		(遠)宗祖御影巡回(11組浄福寺)
6/9(月)	14:00 14:00	(遠)法要部会 差別と真宗共学研修会部門会議
6/10(火)	14:00 14:00	教区改編委員会 (遠)広報部会
6/11(水)	14:00 14:00	社会広報部会 靖国問題研修会部門会議
6/12(木)	14:00	~13日 連区坊守研修会(東京) 教化センター
6/13(金)	13:30 14:00 15:00	差別と真宗協議会 (遠)募財部会 (遠)助音研修会
6/14(土)	14:00	~15日 東北連区保育大会(高田) 真宗学院
6/16(月)	13:30 14:00	~17日 新任教師研修会(教学) 大谷保育協会(新潟)理事会・総会
6/17(火)	10:00 14:00	新潟地区女性研修会 (遠)子ども御遠忌スタッフ会
6/19(木)	14:00 15:30	企画委員会 教化センター(学習会・閉講式)
6/20(金)	14:00 17:00	研修部会 如来会
6/21(土)	13:30 14:00 14:00	(遠)宗祖御影巡回(10組受徳寺) 真宗学院 推進員養成講座(23組西蓮寺)
6/22(日)	13:30	(遠)宗祖御影巡回(10組聞光寺)
6/23(月)	14:00	(遠)実行委員会
6/24(火)	13:30 14:00	教区坊守会役員会 推進員連絡協議会役員会
6/25(水)	15:00	(遠)木揚場教会で“れきし”を発見!
6/26(木)	14:00	正副組長連絡協議会
6/27(金)	14:00	教区教化委員会総会
6/28(土)	14:00	真宗学院
6/30(月)	13:00	推進員・育成員共学研修会
7/2(水)	13:30	教区坊守会役員会
7/5(土)	13:00	全戦争犠牲者追弔法会 真宗学院
7/9(水)	14:00	(遠)親鸞聖人顕彰スタッフ会議 教区監査
7/11(金)	14:00	教区御依頼適正審議会

7/12(土)	真宗学院
7/16(水) 14:00	(遠)実行委員会
7/18(金) 10:00	教区門徒会常任委員会
14:00	教区会参事会
7/19(土)	真宗学院
7/22(火) 13:00	教区会特別委員会
14:30	教区会決算委員会
7/24(木) 14:00	別院責任役員会
7/25(金) 13:30	教区会(通常会)
7/26(土) 14:00	真宗学院
14:00	推進員養成講座(23組無爲信寺)
7/28(月) 10:00	教区門徒会(通常会)
8/4(月) 14:00	院議会(通常会)
8/11(月)	～15日(金) 教務所事務休暇
8/17(日)	～21日(木) 子どもたち一時保養
8/18(月)	教務所事務再開
8/19(火)	～21日(木) 児童夏の集い
8/27(水) 14:00	大谷大学同窓会
8/31(月)	(遠)宗祖御影巡回(第19組)

(遠)は三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌実行委員会関連であることを示します。

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれています。また、日程は変更される場合があります。

新潟親鸞学会からのお知らせ

特別展「親鸞となむの大地」まもなくファイナル!

長岡の新潟県立歴史博物館で4月26日にオープンした特別展「親鸞となむの大地-越後と佐渡の精神的風土-」(当会ほか主催。三条教区ほか後援)が、まもなく終了します。

5月24日には入場が2万人を超え、記念の式が行われました(新潟日報記事参照)。

博物館からの報告によれば、まだ8千人からの方々が前売券をあたためているとのこと。払戻はありません。特別展が閉幕すれば、ただの紙切れになります。無駄にせず、ご活用ください。

なお、特別展にお出かけの節は、あわせて地階の常設展にも、ぜひ足をお運びください。特別展で見た越後と佐渡の「なむの精神」が、具体的には、常設展で展示されている、雪にめげることなく低湿地の開墾にあたったことや、金山の開発に当たったことなど、先祖たちの生活へと展開した様子を、知ることができます。

【新潟親鸞学会入会の申し込み・お問い合わせ】
 新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄
 〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783 超願寺内
 ☎025-222-2820 FAX 025-222-2830
 Eメール choganji@nifty.com
 新潟親鸞学会デスク(ブログ):
<http://niigata-shinran.cocolog-nifty.com/blog/>



25日、長岡市
 2万人目となった高崎さんと高松さんに認定証と記念品が贈られた記念セレモニー

入場者2万人 人生観に触れ

親鸞となむの大地展 長岡・歴博

長岡市の県立歴史博物館で開催中の特別展「親鸞となむの大地-越後と佐渡の精神的風土-」(新潟日報社など主催)の入場者が25日、2万人になった。2万人目となった聖籠町の会社員、高崎則男さん(61)と同町の自営業、高松進さん

(61)は「新潟日報で連載している親鸞の小説を読んでいて、どうしても来たかった」と喜んでた。特別展では、浄土真宗の開祖で越後に流罪になった親鸞について、人々や新潟の精神文化に与えた影響を国宝や国指定重要文化財を含む約200点の資料を通じて紹介している。

同館で行われた記念セレモニーで、2人には認定証や特別展の図録が贈られた。2人は友人同士で、高崎さんは「親鸞の生きざまをもう一度学んでみたい」と期待し、高松さんは「ゆかりの品々を通して親鸞について自分なりのイメージを形作りたい」と話していた。

6月8日まで。5月26日と6月2日は休館。

市)

信仰支えた女

